

第50回 (R4. 2)

実録 言い間違い爆笑編

「これでもワシは案外バリケードだぞ！」

長老県会議員殿の言葉に周囲が固まった。偉い先生に「それを言うなら**テリケート**でしょう」と突っ込む猛者はいない。加齢とともに言葉が出なくなり、言い間違いも多くなる。

先日、気品に満ちた老婦人と食事をした時のことである。元日松江駅で起こった刃傷事件について話が及んだ時、彼女はかくのごとく仰った。

「刃物を持った犯人を捕まえたなんて勇氣あるわね。**さる** **まだ**でも使ったのかしら？」

口の中のご飯粒が残らず飛び出した。ご本人もすぐにお気付きになられ

「あらいやだ **さすまた**よ

さ・す・ま・た」

あとは二人とも笑い転げ、食事どころではなくなった。言葉というのとは一字違いでと

んでもないことになる。とりわけ高齢者は力タカナやアルファベットに弱い。以下は抱腹絶倒、忘れ難い言い間違いをご紹介します。

①喫茶店で連れが「**ジンジャーエール**」を注文「**ジンジャーオイル**くださいー！」

(私は思い切り他人のふりをした)

②家庭内暴力「**DV**」を語る友が真顔で

「最近の**AV**は陰湿で根が深い」

(ほお続きが聞きたいもんですな)

③極めつけは「**ナイアガラ**の滝は凄いで」を「**バイアグラ**の滝は凄いで」

(語感似ているがバカヤローとしか)

皆さんくれぐれもお気を付けあそばせ。